

一般社団法人日本障害者歯科学会

# 専門医研修手帳

(認定医 1 回更新者用)

|       |  |
|-------|--|
| 氏 名   |  |
| 研修施設名 |  |
| 登録年月日 |  |

## 目次

|     |                              |    |
|-----|------------------------------|----|
| I   | 障害者歯科専門医を目指す方々へ .....        | 1  |
| II  | 研修中の評価 .....                 | 2  |
| III | 専門医研修内容と記録・評価 .....          | 4  |
|     | 1. 障害者歯科専門研修の目標・役割 .....     | 4  |
|     | 3. 経験すべき疾患 .....             | 6  |
|     | 5. 習得すべき診療技能と手技 .....        | 8  |
|     | 6. 臨床現場での評価、診察手技・能力の評価 ..... | 11 |
|     | 7. 学会参加や学会発表、論文発表の記録 .....   | 12 |

## I 障害者歯科専門医を目指す方々へ

日本障害者歯科学会は、障害者歯科をめざす皆さんを歓迎致します。ともに手を携えて、障害のある方の口腔の健康とQOLの維持・向上をサポートするプロフェッショナルとして研鑽しましょう。

この研修手帳は、障害者歯科専門医をめざす歯科医師が専門医研修の期間に研修すべき目標を示しています。研修の指針として、また自己の成長を振り返るために、この研修手帳の活用をお願いします。

### 一般目標とは？

何のためにどのような能力を修得するかを包括的に示しています。

### 到達目標とは？

一般目標を達成するために障害者歯科専門医にとって、どのようなことが重要であるか、専門医研修修了時にどのような全般的な能力を身につけてもらいたいかを示しています。つまり、どんなことができるようになるかを具体的に示しています。

### 専門医研修

自ら経験し、十分修得して臨床応用できることが望まれる能力について個別に定めています。

障害者歯科専門医を目指す方は、専攻医の登録が必要です。

専攻医の登録は学会ホームページより登録可能です。専攻医の登録日が研修開始日となります。

障害者歯科専門医受験に際しては、この研修手帳の提出が義務づけられていますので、紛失しないようにご注意ください。

研修手帳は、自分の研修を振り返り、今後さらにどのような目標をめざすべきかを知るための指針です。研修の折々に記載し、目標の到達状況を自己評価し、さらに指導医からも評価を受けて下さい。

専門医試験の受験資格には会員歴も必要です。入会後は会費未納による退会にならないようご注意ください。

## II 研修中の評価

専門医研修手帳は、専門医研修医が研修中に研修すべき目標・課題を示し、障害者歯科専門医が備えておかなくてはならないものを明示しています。研修期間中に方向性を絶えず意識しながら進めて行くためのものとして、そして日々、自己の成長を振り返るために活用をお願いします。

### 【研修期間中の評価】

#### 1. 障害者歯科専門研修の目標・役割

障害者歯科専門研修の目標・役割を5年間で身につけるようにしてください。そして毎年1回（研修1年目、2年目、3年目、4年目、修了時）、自己評価と指導医評価を記入してください。

##### 【自己評価／指導医評価】

A：専門医レベル以上、 B：標準、 C：やや不十分、 D：不十分 N：経験なし

1～4年目にはCやDがあっても構いませんが、研修修了時には指導医評価がAやB評価になるように努力してください。

#### 2. 障害者歯科専門研修の到達目標

70%以上の項目（329項目中230項目）を修得するようにしてください。毎年1回（研修1年目、2年目、3年目、4年目）、自己評価を指導医とともに振り返って下さい。修了時は、指導医が総括的評価を行います。

##### 【自己評価／指導医評価】

A：非常に優れている、 B：優れている、 C：やや劣る

D：劣る、 N：経験なし

1～4年目にはC、D、Nがあっても構いませんが、研修修了時には70%以上を経験し、AやBになるように努力してください。

「D：不十分」の場合、専門医委員会で最終判断されます。

#### 3. 経験すべき疾患

レベルAの疾患は80%以上（28疾患中23疾患）を経験するようにしてください。レベルBは経験することが望ましい疾患です。毎年1回（研修1年目、2年目、3年目、4年目）、自己評価を指導医とともに振り返って下さい。修了時は、指導医が総括的評価を行います。

##### 【自己評価／指導医評価】

A：専門医レベル以上、 B：標準、 C：やや不十分、 D：不十分、 N：経験なし

1～4年目にはC、D、Nがあっても構いませんが、研修修了時には70%以上を経験し、AやBになるように努力してください。

「D：不十分」の場合、専門医委員会で最終判断されます。

#### 4. 臨床経験症例

専門医研修中に経験した症例を記録し、専門医試験申請時の参考にしてください。

または、臨床経験症例の記録をそのまま提出して頂いても構いません。

## **5. 習得すべき診療技能と手技**

習得すべき 82 項目のうち、70%以上（57 項目以上）を経験するようにしてください。毎年 1 回（研修 1 年目、2 年目、3 年目、4 年目）、自己評価を指導医とともに振り返ってください。修了時は、指導医が総括的評価を行います。

### **【自己評価／指導医評価】**

A：ひとりでできる、 B：指導医とともにできる、 C：やや不十分、

D：不十分、 N：経験なし

1～4 年目には C、D、N があっても構いませんが、研修修了時には、80%以上を経験し、A や B になるように努力してください。

「D：不十分」の場合、専門医委員会で最終判断されます。

## **6. 臨床現場での評価、診察手技・能力の評価**

研修期間中は毎年 1 回、臨床現場で指導医は、専門医研修医の診察能力を評価してください。指導医は、評価の振り返りとして良かった点、改善すべき点、レベルアップのための合意した具体的な行動などをフィードバックして、形成的評価を行ってください。そして専門医研修医の成長を促してください。

## **7. 学会参加や学会発表、論文発表の記録**

研修期間中は、学会参加や学会発表した時や論文掲載された際には、随時記録を行って下さい。研修医受験の際には、参加証や抄録のコピー、掲載された論文の 1 ページ目のコピーを添えてください。

### Ⅲ 専門医研修内容と記録・評価

#### 1. 障害者歯科専門研修の目標・役割

| 1. 障害者歯科専門研修の目標・役割 |                                                 |     |             |             |             |             |             |
|--------------------|-------------------------------------------------|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 目標                 |                                                 |     | 1<br>年<br>目 | 2<br>年<br>目 | 3<br>年<br>目 | 4<br>年<br>目 | 修<br>了<br>時 |
| 総合的な<br>歯科<br>医療   | 障害者歯科における理解                                     | 自己  |             |             |             |             |             |
|                    | ● 障害者の身体、心理、精神に関し全体像を把握できる。                     |     |             |             |             |             |             |
|                    | ● 疾患、障害を生物学的、心理社会的背景を含めて理解できる。                  | 指導医 |             |             |             |             |             |
|                    | ● EBMとNarrative-based Medicineを考慮した診療ができる。      |     |             |             |             |             |             |
|                    | 成育歯科医療                                          | 自己  |             |             |             |             |             |
|                    | ● 小児期・思春期・成人期、老年期、終末期などのライフステージを見据えた歯科医療を実践できる。 | 指導医 |             |             |             |             |             |
|                    | 地域医療と社会資源の活用                                    | 自己  |             |             |             |             |             |
|                    | ● 地域の一次から二次（地域センター）までの障害者歯科医療を担う。               |     |             |             |             |             |             |
|                    | ● 障害者医療の制度・福祉・社会資源に精通し、適切な地域医療を提供できる。           | 指導医 |             |             |             |             |             |
|                    | ● 障害者歯科に関わる専門職育成に関与できる。                         |     |             |             |             |             |             |
| 健康支<br>援者          | 患者・家族との信頼関係                                     | 自己  |             |             |             |             |             |
|                    | ● 多様な考えや背景を持つ障害のある患者と家族に対して信頼関係を構築できる。          | 指導医 |             |             |             |             |             |
|                    | ● 家族全体の心理社会的因子に配慮し、支援できる。                       |     |             |             |             |             |             |
|                    | プライマリ・ケアと支援                                     | 自己  |             |             |             |             |             |
|                    | ● 歯科疾患や摂食嚥下障害とそれによって引き起こされる健康問題に長期的に対応できる。      |     |             |             |             |             |             |
| 健康支<br>援者          | ● 家族の不安と背景を把握し、適切な支援ができる。                       | 指導医 |             |             |             |             |             |
|                    | 健康支援と予防医療                                       | 自己  |             |             |             |             |             |
|                    | ● 乳幼児から高齢期を通して障害と保護者・家族に配慮した健康支援・予防医療を実践できる。    |     |             |             |             |             |             |

| 目標                                           |                                                       |     | 1<br>年<br>目 | 2<br>年<br>目 | 3<br>年<br>目 | 4<br>年<br>目 | 修<br>了<br>時 |
|----------------------------------------------|-------------------------------------------------------|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 権利擁護                                         | 障害者権利と対応                                              | 自己  |             |             |             |             |             |
|                                              | ● 障害者の尊厳を守ることができる.                                    |     |             |             |             |             |             |
|                                              | ● 障害者に関する社会的な問題を認識できる.                                | 指導医 |             |             |             |             |             |
|                                              | ● 障害者や家族の代弁者として問題解決にあたることができる.                        |     |             |             |             |             |             |
| 学識・研究者                                       | ● 合理的配慮 ができる.                                         |     |             |             |             |             |             |
|                                              | 高次医療と病態研究                                             | 自己  |             |             |             |             |             |
|                                              | ● 最新の医学情報を常に収集し,現状の歯科医療を検証できる.                        | 指導医 |             |             |             |             |             |
|                                              | ● 高次医療を経験し, 病態・診断・治療法の研究に積極的に参画する.                    |     |             |             |             |             |             |
|                                              | 国際的視野                                                 | 自己  |             |             |             |             |             |
|                                              | ● 国際的な視野を持って障害者歯科医療に関わることができる.                        | 指導医 |             |             |             |             |             |
| 医療の<br>プ<br>ロ<br>フェ<br>ッ<br>シ<br>ョ<br>ナ<br>ル | ● 国際的な情報発信・国際貢献に積極的に関わる.                              |     |             |             |             |             |             |
|                                              | 医の倫理と意思決定支援                                           | 自己  |             |             |             |             |             |
|                                              | ● 障害のある人を一つの人格として捉え、年齢・発達段階に合わせた説明・告知と同意を得ることができる.    | 指導医 |             |             |             |             |             |
|                                              | ● 患者のプライバシーに配慮し、障害者歯科医としての社会的・職業的責任と医の倫理に沿って職務を全うできる. |     |             |             |             |             |             |
|                                              | 省察と研鑽                                                 | 自己  |             |             |             |             |             |
|                                              | ● 他者からの評価を謙虚に受け止め、生涯自己省察と自己研鑽に努める.                    | 指導医 |             |             |             |             |             |
|                                              | 教育への貢献                                                | 自己  |             |             |             |             |             |
|                                              | ● 障害者歯科医療に関わるロールモデルとなり、後進の教育に貢献できる.                   | 指導医 |             |             |             |             |             |
|                                              | ● 社会に対して障害者歯科医療に関する啓発的・教育的取り組みができる.                   |     |             |             |             |             |             |
|                                              | 協働医療                                                  | 自己  |             |             |             |             |             |
|                                              | ● 障害者医療にかかわる多くの専門職と協力してチーム医療を実践できる.                   | 指導医 |             |             |             |             |             |
|                                              | 医療安全                                                  | 自己  |             |             |             |             |             |
|                                              | ● 障害者歯科医療における安全管理・感染管理の適切なマネジメントができる.                 | 指導医 |             |             |             |             |             |
|                                              | 医療経済                                                  | 自己  |             |             |             |             |             |
|                                              | ● 医療経済・保険制度・社会資源を考慮しつつ、適切な医療を実践できる.                   | 指導医 |             |             |             |             |             |

評価基準    A：非常に優れている    B：優れている    C：やや劣る    D：劣る    N：評価不能

### 3. 経験すべき疾患

| 経験すべき疾患                                  |                |                   | 1年目<br>(自己評価) | 2年目<br>(自己評価) | 3年目<br>(自己評価) | 4年目<br>(自己評価) | 修了時<br>(指導医評価) |
|------------------------------------------|----------------|-------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|
| レベルA<br>(必須)<br>(5年間で80%以上の経験：28疾患中23疾患) | 神経発達<br>症群     | 知的能力障害            |               |               |               |               |                |
|                                          |                | 自閉スペクトラム症         |               |               |               |               |                |
|                                          |                | 注意欠如・多動症          |               |               |               |               |                |
|                                          |                | 限局性学習症            |               |               |               |               |                |
|                                          | 精神および行動の<br>障害 | 統合失調症             |               |               |               |               |                |
|                                          |                | 双極性障害およびうつ病       |               |               |               |               |                |
|                                          |                | 不安症               |               |               |               |               |                |
|                                          |                | 強迫症               |               |               |               |               |                |
|                                          |                | 身体症状障害            |               |               |               |               |                |
|                                          |                | 認知症               |               |               |               |               |                |
|                                          |                | てんかん              |               |               |               |               |                |
|                                          | 身体障害           | 脳性麻痺              |               |               |               |               |                |
|                                          |                | 重症心身障害児・者         |               |               |               |               |                |
|                                          |                | Duchenne型筋ジストロフィー |               |               |               |               |                |
|                                          |                | 関節リウマチ            |               |               |               |               |                |
|                                          |                | Parkinson病        |               |               |               |               |                |
|                                          |                | 脳血管障害後遺症          |               |               |               |               |                |
|                                          |                | 視覚障害              |               |               |               |               |                |
|                                          |                | 聴覚障害              |               |               |               |               |                |
|                                          |                | 音声言語障害            |               |               |               |               |                |
|                                          |                | 摂食嚥下障害（先天性）       |               |               |               |               |                |
|                                          |                | 摂食嚥下障害（後天性）       |               |               |               |               |                |
|                                          |                | 先天性心疾患            |               |               |               |               |                |
|                                          |                | 心不全               |               |               |               |               |                |
|                                          |                | 腎不全               |               |               |               |               |                |
|                                          |                | 呼吸不全              |               |               |               |               |                |
|                                          |                | 肝機能障害             |               |               |               |               |                |
|                                          | 症候群            | Down症候群           |               |               |               |               |                |



| 経験すべき疾患               |        |                      | 1年目<br>(自己評価) | 2年目<br>(自己評価) | 3年目<br>(自己評価) | 4年目<br>(自己評価) | 修了時<br>(指導医評価) |
|-----------------------|--------|----------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|
| レベルB<br>経験することが望ましい疾患 | 身体障害   | 福山型筋ジストロフィー          |               |               |               |               |                |
|                       |        | その他の筋ジストロフィー         |               |               |               |               |                |
|                       |        | 二分脊椎                 |               |               |               |               |                |
|                       |        | 脊椎損傷                 |               |               |               |               |                |
|                       |        | 脊髄小脳変性症              |               |               |               |               |                |
|                       |        | 筋萎縮性側索硬化症            |               |               |               |               |                |
|                       |        | 平衡機能障害               |               |               |               |               |                |
|                       |        | 先天性無痛無汗症             |               |               |               |               |                |
|                       |        | 味覚障害                 |               |               |               |               |                |
|                       |        | 食行動障害および摂食障害         |               |               |               |               |                |
|                       |        | 膀胱または直腸機能障害          |               |               |               |               |                |
|                       |        | 小腸機能障害               |               |               |               |               |                |
|                       |        | ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害  |               |               |               |               |                |
|                       | 医療的ケア児 |                      |               |               |               |               |                |
|                       | 症候群    | 5p-症候群               |               |               |               |               |                |
|                       |        | Klinefelter症候群       |               |               |               |               |                |
|                       |        | Turner症候群            |               |               |               |               |                |
|                       |        | Sturge-Weber症候群      |               |               |               |               |                |
|                       |        | Recklinghausen病      |               |               |               |               |                |
|                       |        | 結節性硬化症               |               |               |               |               |                |
|                       |        | Robin sequense       |               |               |               |               |                |
|                       |        | Tracher Collins症候群   |               |               |               |               |                |
|                       |        | Hallerman-Streiff症候群 |               |               |               |               |                |
|                       |        | 歌舞伎症候群               |               |               |               |               |                |
|                       |        | Ellis-van Creveld症候群 |               |               |               |               |                |
|                       |        | 鎖骨頭蓋異骨症              |               |               |               |               |                |
|                       |        | Apert症候群             |               |               |               |               |                |
|                       |        | Crouzon症候群           |               |               |               |               |                |
|                       |        | Williams症候群          |               |               |               |               |                |
|                       |        | de Lange症候群          |               |               |               |               |                |
|                       |        | Rubinstein-Taybi症候群  |               |               |               |               |                |
|                       |        | 口・顔・指症候群 I 型         |               |               |               |               |                |
|                       |        | Marfan症候群            |               |               |               |               |                |
|                       |        | Sotos症候群             |               |               |               |               |                |
|                       |        | McCune-Albright症候群   |               |               |               |               |                |
|                       |        | 無（減）汗性外胚葉異形成症        |               |               |               |               |                |
|                       |        | 基底細胞母斑症候群            |               |               |               |               |                |
|                       |        | Sjogren-Larsson症候群   |               |               |               |               |                |
|                       |        | Ehlers-Danlos症候群     |               |               |               |               |                |
|                       |        | 骨形成不全症               |               |               |               |               |                |
|                       |        | 軟骨無形成症               |               |               |               |               |                |
|                       |        | Lesch-Nyhan症候群       |               |               |               |               |                |
|                       |        | 先天性無痛無汗症             |               |               |               |               |                |
|                       |        | Rett症候群              |               |               |               |               |                |
|                       |        | 22q11.2欠失症候群         |               |               |               |               |                |
|                       |        | Prader-Willi症候群      |               |               |               |               |                |
|                       |        | ビタミンD抵抗性くる病          |               |               |               |               |                |
|                       |        | もやもや病                |               |               |               |               |                |
|                       |        | Lennox-Gastaut症候群    |               |               |               |               |                |
|                       |        | West症候群              |               |               |               |               |                |
|                       | 難病     | 炎症性腸疾患（Crohn病）       |               |               |               |               |                |
|                       |        | 特発性拡張型心筋症            |               |               |               |               |                |
|                       |        | 全身性エリテマトーデス          |               |               |               |               |                |
|                       |        | サルコイドーシス             |               |               |               |               |                |

A：専門医レベル以上、 B：標準、 C：やや不十分、 D：不十分、 N：経験なし

## 5. 習得すべき診療技能と手技

|      | 診療技能と手技 |                                          | 1年目<br>(自己評価) | 2年目<br>(自己評価) | 3年目<br>(自己評価) | 4年目<br>(自己評価) | 修了時<br>(指導医評価) |
|------|---------|------------------------------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|
| 医療面接 | 1       | 医療面接における基本的なコミュニケーション                    |               |               |               |               |                |
|      | 2       | 患者の病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴）を聴取                 |               |               |               |               |                |
|      | 3       | 患者の身体的・精神的・社会的な問題点を抽出                    |               |               |               |               |                |
|      | 4       | 患者の不安、不満や表情、行動の変化への対応                    |               |               |               |               |                |
|      | 5       | 患者のプライバシーへの配慮                            |               |               |               |               |                |
|      | 6       | 医療面接における合理的配慮                            |               |               |               |               |                |
|      |         | 1) 視覚障害者への対応                             |               |               |               |               |                |
|      |         | 2) 聴覚障害者への対応（情報保証）                       |               |               |               |               |                |
|      |         | 3) 言語障害者への対応                             |               |               |               |               |                |
|      |         | 4) 精神障害者                                 |               |               |               |               |                |
| 診察   | 1       | 発達の評価                                    |               |               |               |               |                |
|      | 2       | 精神年齢の評価                                  |               |               |               |               |                |
|      | 3       | バイタルサイン（脈拍数とリズム、血圧、SpO <sub>2</sub> ）の評価 |               |               |               |               |                |
|      | 4       | 診察時の合理的配慮                                |               |               |               |               |                |
|      |         | 1) 視覚障害者への対応                             |               |               |               |               |                |
|      |         | 2) 聴覚障害者への対応（情報保証）                       |               |               |               |               |                |
|      |         | 3) 言語障害者への対応                             |               |               |               |               |                |
|      |         | 4) 精神障害者                                 |               |               |               |               |                |
|      | 5       | 内科疾患の評価                                  |               |               |               |               |                |
|      | 6       | 認知症者の評価                                  |               |               |               |               |                |
|      | 7       | 嚥下障害の評価                                  |               |               |               |               |                |
|      | 8       | 視聴覚・言語障害者の評価                             |               |               |               |               |                |
|      | 9       | 精神障害（認知症以外）者の評価                          |               |               |               |               |                |
|      | 10      | 身体障害者の評価                                 |               |               |               |               |                |

|                 | 診療技能と手技      |                              | 1年目<br>(自己評価) | 2年目<br>(自己評価) | 3年目<br>(自己評価) | 4年目<br>(自己評価) | 修了時<br>(指導医評価) |
|-----------------|--------------|------------------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|
| 患者情報の分析・治療方針の決定 | 1            | 歯科医療上の問題点への対応法               |               |               |               |               |                |
|                 |              | 1) リスクマネジメント（予防策の検討）         |               |               |               |               |                |
|                 |              | 2) クライシスマネジメント（事故発生時の対処法の検討） |               |               |               |               |                |
|                 | 2            | 障害特性に応じた治療計画の立案              |               |               |               |               |                |
|                 | 3            | 患者と患者環境に配慮した保健指導計画の立案        |               |               |               |               |                |
|                 | 4            | 診断結果と治療方針・治療計画の説明            |               |               |               |               |                |
|                 | 5            | インフォームドアセント                  |               |               |               |               |                |
|                 | 6            | 意思決定支援                       |               |               |               |               |                |
|                 | 7            | 患者本人の最善の利益を優先した判断（ベストインタレスト） |               |               |               |               |                |
| 行動療法            | I 不安軽減法      |                              |               |               |               |               |                |
|                 | 1            | レスポナント条件づけ（消去）               |               |               |               |               |                |
|                 | 2            | リラクセーション                     |               |               |               |               |                |
|                 | 3            | 系統的脱感作                       |               |               |               |               |                |
|                 | 4            | フラッディング                      |               |               |               |               |                |
|                 | II 行動形成法     |                              |               |               |               |               |                |
|                 | 1            | オペラント条件づけ                    |               |               |               |               |                |
|                 | 2            | 応用行動分析                       |               |               |               |               |                |
|                 | 3            | トークンエコノミー                    |               |               |               |               |                |
|                 | 4            | タイムアウト法                      |               |               |               |               |                |
|                 | 5            | レスポンスコスト                     |               |               |               |               |                |
|                 | 6            | シェイピング                       |               |               |               |               |                |
|                 | III モデリング    |                              |               |               |               |               |                |
|                 | IV ボイスコントロール |                              |               |               |               |               |                |
| 補助的対応           | 1            | 視覚支援                         |               |               |               |               |                |
|                 | 2            | カウント法                        |               |               |               |               |                |
|                 | 3            | BIMアプローチ                     |               |               |               |               |                |
| 薬物的対応           | 1            | 経口鎮静法（前投薬）下の歯科治療             |               |               |               |               |                |
|                 | 2            | 笑気吸入鎮静法下の歯科治療                |               |               |               |               |                |
|                 | 3            | 静脈内鎮静法/静脈麻酔下の歯科治療            |               |               |               |               |                |
|                 | 4            | 全身麻酔下の歯科治療                   |               |               |               |               |                |

|               | 診療技能と手技 |                                 | 1年目<br>(自己評価) | 2年目<br>(自己評価) | 3年目<br>(自己評価) | 4年目<br>(自己評価) | 修了時<br>(指導医評価) |
|---------------|---------|---------------------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|
| 歯科治療時の対応      | 1       | 不随意運動のある患者の歯科治療                 |               |               |               |               |                |
|               | 2       | 拒否行動のある患者の歯科治療                  |               |               |               |               |                |
|               | 3       | 過緊張への対応（反射抑制肢位など）               |               |               |               |               |                |
|               | 4       | 拘縮・側弯のある患者への対応                  |               |               |               |               |                |
|               | 5       | 呼吸抑制への対応（頭部後屈など）                |               |               |               |               |                |
|               | 6       | 嚥下障害患者の歯科治療                     |               |               |               |               |                |
|               | 7       | 自閉スペクトラム症者のパニック時の対応             |               |               |               |               |                |
|               | 8       | てんかん発作時の対応                      |               |               |               |               |                |
|               | 9       | 内科疾患患者への対応<br>(ストレスのない対応、心拍監視)  |               |               |               |               |                |
|               | 10      | 感染症患者への対応                       |               |               |               |               |                |
|               | 11      | 福祉の視点に基づく気づきと対応                 |               |               |               |               |                |
| 補助具などの使用      | 1       | 開口保持器の使用による歯科治療                 |               |               |               |               |                |
|               | 2       | 開口器の使用による歯科治療                   |               |               |               |               |                |
|               | 3       | その他の補助器具                        |               |               |               |               |                |
| 摂食嚥下リハビリテーション | 1       | 基礎訓練（間接訓練）                      |               |               |               |               |                |
|               | 2       | 基礎訓練および摂食訓練                     |               |               |               |               |                |
|               | 3       | 摂食訓練（直接訓練）                      |               |               |               |               |                |
|               | 4       | 嚥下調整食の選択                        |               |               |               |               |                |
| 移乗            | 1       | 車いす                             |               |               |               |               |                |
|               | 2       | ストレッチャー                         |               |               |               |               |                |
| チームアプローチ      | 1       | 歯科衛生士との共通理解・リスクマネジメント           |               |               |               |               |                |
|               | 2       | 歯科麻酔医                           |               |               |               |               |                |
|               | 3       | 言語聴覚士                           |               |               |               |               |                |
|               | 4       | 療育関係者                           |               |               |               |               |                |
|               | 5       | 学校関係者                           |               |               |               |               |                |
|               | 6       | 福祉関係者                           |               |               |               |               |                |
|               | 7       | その他                             |               |               |               |               |                |
| 在宅医療          | 1       | 在宅医療における保健指導<br>(医療的ケア児・要介護高齢者) |               |               |               |               |                |
|               | 2       | 在宅医療における歯科治療<br>(医療的ケア児・要介護高齢者) |               |               |               |               |                |
|               | 3       | 医療連携（高次医療機関への紹介）                |               |               |               |               |                |

① 指導医が専門医研修医の指導場面を観察し、診察能力の評価を行い、記録する。

② 観察と記載が終わったら、良い点、改善点などのフィードバックを行う。

③ 合否判定が主目的でなく、研修中の形成評価として用いる。

④ 回数を重ねることにより総括評価（合否判定）の参考にする。

⑤ 年1回、5年間で5回が目安となる。

評価基準 A：非常に優れている B：優れている C：やや劣る D：劣る N：評価不能

6. 臨床現場での評価：診察手技・能力

| 診察手技・能力の評価       | 1年目       | 2年目       | 3年目       | 4年目       | 修了時       |
|------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 日付               | ／         | ／         | ／         | ／         | ／         |
| 1 病歴聴取           | A B C D N | A B C D N | A B C D N | A B C D N | A B C D N |
| 2 診察             | A B C D N | A B C D N | A B C D N | A B C D N | A B C D N |
| 3 コミュニケーション      | A B C D N | A B C D N | A B C D N | A B C D N | A B C D N |
| 4 臨床診断           | A B C D N | A B C D N | A B C D N | A B C D N | A B C D N |
| 5 プロフェッショナリズム    | A B C D N | A B C D N | A B C D N | A B C D N | A B C D N |
| 6 問題点の抽出と対応      | A B C D N | A B C D N | A B C D N | A B C D N | A B C D N |
| 7 歯科的管理          |           |           |           |           |           |
| 総合判定             | A B C D N | A B C D N | A B C D N | A B C D N | A B C D N |
| 良かった点            |           |           |           |           |           |
| 改善すべき点           |           |           |           |           |           |
| レベルアップのための合意した行動 |           |           |           |           |           |
| 評価者署名            |           |           |           |           |           |

- ① 指導医が専門医研修医の指導場面を観察し、診察能力の評価を行い、記録する。
- ② 観察と記載が終わったら、良い点、改善点などのフィードバックを行う。
- ③ 合否判定が主目的でなく、研修中の形成評価として用いる。
- ④ 回数を重ねることにより総括評価（合否判定）の参考にする。
- ⑤ 年1回、5年間で5回が目安となる。

評価基準    A：非常に優れている    B：優れている    C：やや劣る    D：劣る    N：評価不能

## 7. 学会参加や学会発表、論文発表の記録

|      |      |                                                          |
|------|------|----------------------------------------------------------|
| 例    | 学会参加 | 20〇〇年〇月〇日～〇日<br>第〇〇回日本障害者歯科学会（参加証のコピーを添えて提出）             |
|      | 学会発表 | 20〇〇年〇月〇日～〇日<br>第〇〇回日本障害者歯科学会<br>演題名（抄録集のコピーを添えて提出）      |
|      | 論文発表 | 横田 誠、他：衣服の着脱可能な自閉スペクトラム症児における歯科治療時の行動特性、障歯誌、2019；137－45. |
| 1 年目 | 学会参加 |                                                          |
|      | 学会発表 |                                                          |
|      | 論文発表 |                                                          |
| 2 年目 | 学会参加 |                                                          |
|      | 学会発表 |                                                          |
|      | 論文発表 |                                                          |
| 3 年目 | 学会参加 |                                                          |
|      | 学会発表 |                                                          |
|      | 論文発表 |                                                          |
| 4 年目 | 学会参加 |                                                          |
|      | 学会発表 |                                                          |
|      | 論文発表 |                                                          |
| 最終年  | 学会参加 |                                                          |
|      | 学会発表 |                                                          |
|      | 論文発表 |                                                          |